

総合実習「水準測量と角測量」

農業土木科2年生

6月15日、18日に校地内で農業土木科2年生が測量実習を行いました。

4人で班になり、オートレベルを用いて高低差を測定する「水準測量」とセオドライトを用いて水平角を測定する「角測量」の測量に分かれて実習を行いました。

「水準測量」は、校地内に設置された三角点から指定された測点までの高低差を測定します。初めての測量で苦戦している生徒もいましたが、建設業関係では必ずと言っていいほど重要な測量なので少しずつ身に付けてほしいです。

「角測量」は、今まで何度も取り扱ってきたセオドライトを用いて指定された測点から測点の間の角度を測定します。今回は、測定の精度をより向上させるために「倍角法」という方法で行います。今後、校地内に設置された8つの測点を測量する際に使う大事なもののなのでしっかり身に付けてほしいです。



水準測量の様子



角測量の様子